



資料番号:AC-J-AAK

作成日:2014年10月26日

改訂日:2021年04月21日

防錆紙の使用面積 アドパック-G(鉄鋼用含浸タイプ)

会社情報

会社名: アドコート株式会社
担当部署: 技術部
住所: 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台一丁目2番地20
電話番号: 0774-66-1911
Fax 番号: 0774-94-9027
E-mail: otoiwase@adpack.jp
ホームページ: <http://www.adpack.jp/>

気化性防錆紙

アドパック-G(鉄鋼用含浸タイプ)

主な製品

GK-6 (M, N, UNM)	AGK-6 (M, N, UNM)	GK-7 (M, N, UNM)	AGK-7 (UNM)
GK-9(M)	AGKT-6 (M, N)		
GP-6 (M, N, UNM)	AGP-6 (M, N, UNM)	GP-7 (M, N, UNM)	AGP-7 (UNM)
GP-9(M)			

M: 印刷あり N: 印刷なし UNM: 欧米向け印刷(CLP および HCS 対応)

弊社推奨の気化性防錆紙の使用面積

30 cm×30 cm×30 cm の容器に対して
30 cm×30 cm 以上のサイズ

注意点

- ✓ 試験方法は、下記を参照して下さい。
- ✓ 「使用環境」や「内容物の量、表面積」によって、気化性防錆紙の必要な面積は変わります。
- ✓ 防錆が確認される面積ではありません。
- ✓ 金属と気化性防錆紙の距離が、30 cm 以内での使用を推奨しています。
- ✓ 最新の試験データに基づいて判定しています